

# BPW Newsletter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN



2018.9.1  
Vol.114

## 【特集】

2018 年特定非営利活動法人  
日本 BPW 連合会総会  
札幌大会

## CONTENTS

- 巻頭挨拶  
札幌大会を終えて  
札幌クラブ会長 中田 美知子
- 日本 BPW 連合会札幌大会
  - ・基調講演（概要）
  - 2018 年 BPW パートナーシップ・エバリュエーション賞
  - ヤング・スピーチコンテスト  
全国大会
  - CSW インターン報告
  - 分科会報告
- 「札幌宣言」を採択・提出
- 第 10 回日本 BPW 連合会総会
- 今後の活動予定

## 日本 BPW 連合会ニュースレター

発行人：平松 昌子  
編集：広報委員会

日本 BPW 連合会 事務局  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木  
2-21-11 婦選会館 303  
TEL. 03-5304-7874  
FAX. 03-5304-7876

E-mail: office@bpw-japan.jp  
ホームページ：  
<http://www.bpw-japan.jp/>  
フェイスブック  
<http://www.facebook.com/bpw.japan>  
インスタグラム  
[http://instagram.com/epd\\_japan](http://instagram.com/epd_japan)

## 札幌大会を終えて

札幌クラブ 会長 中田 美知子

2018 年 5 月 26、27 日に、「認定 NPO 法人日本 BPW 連合会総会 2018 札幌大会」が、初の分離開催という方式で行われました。札幌大会と総会は公的な施設「札幌エルプラザ」で、夜の懇親会は徒歩 6 分ほど離れたセンチュリーロイヤルホテルで実施しています。これにより参加費を少し下げることができ、全国 14 のクラブ、アソシエーツから会員 80 名、来賓、一般参加者 55 名、合計 135 名を集めた有意義な大会となりました。



北海道は今年「命名 150 年」を迎えました。江戸末期の探検家松浦武四郎が、「北加伊(ほっかい)道(どう)」と名付けてから 150 年です。松阪に生まれた武四郎はアイヌの従者とともに北海道内を歩き、克明にアイヌ語の地名を書き留めました。「カイ」とは「この大地に生まれたもの」という意味のアイヌ語と言われています。またアイヌ文化研究者の本田優子先生は、「アイヌ」というのは、神に対する「人」という概念であると言います。

今、時代は先住民族の文化への再評価に向かって動きだしました。

そこで札幌大会では札幌大学教授本田優子氏の「ダイバーシティ アイヌ民族と北海道、そして未来へ」と題した記念講演としました。先生は金沢出身で、北海道大学を卒業後、萱野茂氏(二風谷アイヌ文化資料館館長：当時)の助手として平取町に移り住みました。「私は生活者だった。もし研究者として暮らしていたら、アイヌの人々を深く知ることはできなかった。」と、先生は言っています。アイヌ民族の若者たちに、大学で学ぶ機会をと学内に奨学金制度をつくり、道内企業に呼び掛け「ウレシパプロジェクト」を創設したことは高く評価されています。現在はアイヌ語の復興に取組み、子供たちをハワイ語で育てる幼稚園プーナナレオ(「言葉の巢」の意)や、ニュージーランドのマオリ族のビジネスなどを紹介し、北海道民とアイヌ民族の未来を見つめる講演となりました。

続くヤング・スピーチコンテストは全国 5 ブロックで予選を勝ち抜いた 5 人の女性が、「私と仕事」というテーマで競いました。2003 年から実施しているコンテスト、今回は制限時間 5 分を超える出場者はひとりもおらず、年々レベルがあがっていると実感しました。

次に CSW (国連女性の地位委員会) NY 本部に第 15 期インターンとして派遣された福田菜月さん(津田塾大学 3 年)の報告があり、国連本部での話が関心を集めました。

休憩後の分科会は昨年の香川大会に続き、GGGI (男女格差指数) の評価 4 分野である「経済、政治、教育、健康」に分かれ熱心な討議が行われました。これを基に、役員は「札幌宣言」の文言を練り上げていってほしいました。

セレモニーは会場を移し、BPWI 会長のメッセージ紹介、キャンドルライトセレモニーと続き、パートナーシップ・エバリュエーション賞は、札幌市の秋元克広市長に贈呈されました。懇親会では 2020 年に白老で開館する民族共生象徴空間についての紹介がなされ、アイヌ民族博物館の皆さんがアイヌ古式舞踊を舞い、ムックリの演奏を聞かせてくださいました。

今回の札幌大会は BPW 札幌クラブ 45 周年記念として、また北海道みらい事業との連動で行われ、札幌市男女共同参画センター、公益財団法人アイヌ民族文化財団の多大なるご協力をいただきました。

多くの皆様のご支援で札幌大会を無事大過なく終えることができたことを心より感謝申し上げます。

## 記念講演

『ダイバーシティ  
アイヌ民族と北海道、  
そして未来へ』

講師：本田優子さん

(札幌大学教授・  
アイヌ文化研究者)

## ●二風谷で過ごした11年間

皆さま、イランカラプテ（アイヌ語の「こんにちは」）。私は石川県金沢市の出身で、北海道大学を卒業後、1983年から11年間、平取町二風谷に住んでいました。そこでは故・萱野茂先生の助手として、アイヌ語塾の運営やアイヌ語辞典の編纂に携わりました。萱野先生は二風谷アイヌ文化資料館館長で、後にアイヌ民族初の国会議員を務めた方です。二風谷で暮らした11年間は私にとって、人間としての軸足を作っていた期間。息子たちも、アイヌのおじいちゃんやおばあちゃんの中で幸せに育てていただきました。

例えば、忘れられないのは「ストーブの神様」。茶の間を走り回っていた長男が、火のついていないストーブの煙突にぶつかったとき、萱野先生は「泣くんでない。いまストーブの神様も痛かったんだから、なでてあげなさい」。すごい教育だと思いました。痛みを他者と共有することを教えていただくわけです。そのようにアイヌの世界観は合理的で、この世界には「人間＝アイヌ」と「自然(人間以外の存在)＝カムイ(神)」の二つがあり、それらが助け合いながら存在しているという考え方です。それを「人ありて神あり、神ありて人あり」といいます。

## ●思いを形にした「ウレシパ・プロジェクト」

最新調査では、アイヌの人口は16,786人。これは自分をアイヌだと認めた人の数なので、実際にはもっと多いです。長い差別の時代があったために自分をアイヌだと言いたくない人は多く、自分をアイヌだと知らない人も増えているように思います。また、アイヌ語で会話している人の数はゼロ。自分の意思をアイヌ語で伝えることのできる高齢の方や、外国語のようにアイヌ語を獲得した若い世代の人は少しずつ出てきましたが、日常言語としてのアイヌ語は消滅しました。2009年にユネスコの「消滅危機言語リスト」によると、アイヌ語は「極めて深刻」です。

私は二風谷に住んでいたときに、二つのことを願っていました。一つは、アイヌ民族に大学進学之道を保障したいということ。もう一つは、アイヌの子どもたちに民族の文化を教える場が必要だということ

とです。私は「民族文化はシャワーのようだ」といつも言っています。シャワーのように降り注ぎ、身の内にすーっと吸い込まれ、人間が形成されていく。それが民族の文化だと思っていますが、アイヌの子どもたちには雨の一滴すら降りません。

そうした思いから私は、2010年に「ウレシパ・プロジェクト」を立ち上げました。活動の柱は三つあり、「ウレシパ奨学生制度」は、入学金を含めた授業料と同額の奨学金を出す制度。「ウレシパ・カンパニー制度」は、アイヌの若者たちを企業さんに育てていただく試みです。「ウレシパ・ムーブメント」では、皆でアイヌ文化を学び、多文化共生コミュニティのモデルを作ろうとしています。

## ●アイヌ文化の価値を高めるために

アイヌ語の復興のヒントとして注目しているのがハワイです。ハワイ語はアイヌ語と同じく「極めて深刻」な状況にありますが、1983年、ハワイ大でハワイ語を勉強した人たちが幼稚園プーナナレオ（言葉の巣）を立ち上げました。自分の子どもをハワイ語で育てたいという覚悟を持った若者たちが作った幼稚園です。私は1993年に視察したとき、衝撃を受けたのを覚えています。時を経て2017年3月と8月にウレシパクラブの学生たちと現地を訪れました。公用語として制定されるまでになったハワイ語の復興は見事なものです。

私は「アイヌ語を北海道の公用語に」と言っています。公用語とは何かというと“宣言”すること。私たちが生きるこの土地は、そういうことを理念として掲げるという意味です。北海道だけでも、条例を制定して理念として宣言することを願っています。

2020年には白老町に国立施設「民族共生象徴空間」ができます。私は、アイヌ文化は富をもたらす存在だと信念を持っています。北海道民、日本国民の多くがアイヌ文化の価値を理解し、リスペクトするようになれば、そして、アイヌ民族の多くが自らの文化の価値を理解し、自覚を持ってダイナミックに動き出せば、北海道は大きく変わるはずだと思います。





## 2018 年 BPW パートナシップ・エバリュエーション賞 札幌市長 秋元 克広 氏

2018 年日本 BPW 連合会札幌大会のパートナーシップ・エバリュエーション賞は、札幌市長 秋元克広氏に贈られました。

### ◆札幌市長 秋元 克広 氏◆



秋元市長は2015年に就任以来、女性が力を発揮できる環境づくりを市政の重点課題として、取組を進めています。

女性の起業や子育てママの再就職への支援、ワーク・ライフ・バランス取組企業認証、市役所内の女性登用促進など、多くの事業の拡充を進め、2017年度は、官民連携した女性

性応援会議、庁内女性職員プロジェクトを立ち上げ、ここでの議論が2018年度予算に反映されました。

初妊婦訪問事業、産後ケア事業の開始や、産婦人科救急コーディネート事業の充実など、女性の妊娠出産にかかる心身の健康にも配慮しています。

DV対策でも被害者支援団体への補助増額など、官民連携した自立支援への取組は全国的にも評価を得ています。

また2017年度は、多様性を認め合う社会の実現を目指す取組の一つとして、パートナーシップ宣誓制度などのLGBT支援施策を始めました。

子育て環境の充実にも取り組み、子どもの貧困対

策や待機児童問題など課題はありますが、着実に成果を上げています。保育士が子育ての相談に応じる窓口を全区に整備したほか、特に子育て支援市営住宅の建設は、子育て中の方の意見を取り入れ、安全や利便性を追求しました。

さらに、2009年全国に先駆けて「芸術士」を保育園等に派遣し、感性豊かな子どもたちが育つ環境づくりをすすめています。

## 第15回 ヤング・スピーチコンテスト

15回目となった今年も、全国の5つのブロックから選出された、様々な分野で仕事を持つ女性が素晴らしいスピーチを披露しました。

**最優秀賞** 李 一程さん(北海道・東北ブロック代表)

**理事長賞** 元橋 利恵さん(中部ブロック代表)

**ヤングBPW賞** 湯瀬 明日香さん(近畿ブロック代表)

佐藤 香那さん(西日本ブロック代表)

豊嶋 千奈さん(関東・山梨ブロック代表)



## CSW インターン報告

2018年3月に開催されたCSW62に参加したインターンが何を感じ、考えたのか。また今後の活動の抱負について報告していただきました。

### ◆福田 菜月さん(津田塾大学3年)◆

幼い頃よりガールスカウトに入っていたため、少女がおかれている現状に興味を持っていました。大学生となり学内外でジェンダーギャップに関わるイベントに参加しながらも、自らアクションを起こすことができていない焦燥感にかられることも度々ありました。

CSWでは、自分が最も興味のあるバイオレンスについてのイベントに積極的に参加しました。そこで気づいたことは、バイオレンスの定義の広さ、文化や伝統などバイオレンスの根底にある課題などです。そこから、さらに自分の中の葛藤も生まれました。

CSWに参加して「スピークアウト」の重要性を改めて実感し、帰国後に自分のアクションプランを考え、ムーブメントを起こすことを決意しました。それは、日本の少女に対して、リプロダクティブヘルスライツに関する情報を発信するオンデマンドメディアを作ることです。具体的には、生理や避妊、望まない

妊娠等、大きな声でなかなか人に相談できないことを解決するキュレーションサイトを運営しようと思っています。性に関して、正確な情報がまとまっているキュレーションサイトってあんまり見ないよねということから始まったこのプロジェクトは、様々な人を巻き込み、運営開始に向けて着実に動いています。

2030年の社会理想像を考えることは平松さんからの宿題でした。私の考えは、ジェンダーが人権に普遍的に組み込まれ、ジェンダーが問題にあがらない社会です。「ジェンダー」、「セクハラが」、「#MeToo」などが、そもそもニュースにも上がらない。ニュースに上がることで自体がおかしいというような社会をどうにか実現したいと思います。

CSWはこれまでの自分を変える絶好の機会でした。新しい世界

にふれ、まだ見ぬ考え方に会うことができました。この機会を与えてくださったBPWのみなさまに感謝しています。本当にありがとうございました。



## 分科会報告 『男女格差 114 位/144 か国 ヘンな国だよ ニッポンは。さあ、どうする?』

## 分科会 A

## 経済：賃金格差解消

コーディネーター：名取はにわ副理事長(東京)  
 アドバイザー：藤田ひろみ財務委員長(福岡)  
 参加人数：25 名(会員 17 名、一般 8 名)

**目的** GGI2017 年経済分野は 114 位と、日本の総合順位と同順。この現状と問題点を共有すると共に、これを打破するために、私たちに何ができるのか? について考える。

**討議内容** 課題のピックアップ(キーワード「賃金格差」「女性管理職比率」「長時間労働等企業側・女性側の抱える問題」とその解決策について議論する

## 提言

1. 女性、企業、社会の意識改革が必要
2. 再雇用制度を整備し育児休業を促進するとともに、育休後の復帰のためのフォローが必要
3. ポジティブアクションを私達が認識し、認識を社会に広める

## 分科会 B

## 政治：女性議員比率アップ

コーディネーター：平松 昌子理事長(東京)  
 アドバイザー：棚田美津子副理事長(山形)  
 参加人数：25 名(会員 22 名、一般 3 名)

**目的** 「政治分野における男女共同参画推進法」の施行にあたり、世界との比較では 144 か国中 123 位という状況をどうすれば改善できるのか、自分たちが動かねば事態は変わらないという認識で模索する。

**討議内容** 法案が成立し、①政党に対して、②政府に対して、何を望むか、③私たちが考えることは

## 提言

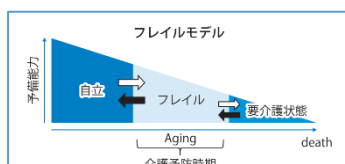
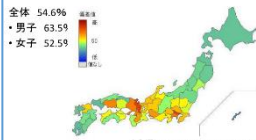
1. 政党に対して：女性向けの勉強会など女性候補が出やすい育成制度を作る
2. 政府に対して：女性議員が少ない政党には政党助成金を少なくするなどの制度を作る。女性候補が出やすくするための選挙制度改革、幼少期からの政治教育
3. 自分たちができること：女性議員を応援するネットワークを作り、政治に関心を持ち、知る努力をする。

GGI 2017 経済 114 位の意味  
 ~女性も働いているのだが、...

|                      |     |       |
|----------------------|-----|-------|
| ・(1) 女性就業率(F/M)      | 78% | 79 位  |
| ・(2) 男女の賃金格差(F/M)    | 67% | 52 位  |
| ・(3) 所得比率(F/M)       | 52% | 100 位 |
| ・(4) 管理職女性比率(F/M)    | 14% | 116 位 |
| ・(5) 専門職技術職女性比率(F/M) | 65% | 101 位 |

2016 年大学進学率

平成 27 年学校基本調査結果



## 分科会 C

## 教育：高等教育

コーディネーター：布柴 靖枝国際委員長(東京)  
 アドバイザー：齋藤京子専務理事(東京)  
 参加人数：19 名(会員 15 名、一般 4 名)

**目的** 日本の「女性の現状」を打破するためには「高等教育」理系への進学者や、教育現場での女性管理職を増やすことが喫緊の課題。教育分野における男女格差や地域格差が生じる問題背景を共有し、その解決のために我々は何をすべきか議論を行う。

**討議内容** 教育における男女間格差および地域間格差の状況を把握した上で、現状を打破するための重点課題を明確化し、解決策を議論する

## 提言

1. STEM で活躍するロールモデルを女子生徒、保護者、教員に発信
2. 女子への教育投資が経済発展につながるという認識を共有
3. 学歴の真の意味は人生の選択肢を広げることにあるという認識を持つ
4. 自然体験や実験を通して女子児童の理系への興味を伸ばす
5. 地域の産業構造を踏まえ、地域で仕事をする人材を育成するという視点で女子教育に力を入れる
6. 女性教員の家事・育児負担を減らし、女性管理職が活躍できる環境を整える
7. 中学校の担当科目ごとの女性教員比率を明らかにして性差の固定化が再生産されないようにする

## 分科会 D

## 健康：健康寿命

コーディネーター：濱田啓子監事(札幌)  
 アドバイザー：居石真理絵広報委員長(東京)  
 参加人数：19 名(会員 17 名、一般 2 名)

**目的** 今後ますます高齢者の活躍が期待される中、いつまでも社会に貢献するためには健康寿命を延ばすことが重要。平均寿命と健康寿命の間にある男性約 9 年、女性約 13 年の差を鑑み、働く女性の視点から健康寿命をいかに延ばしていくか、いつまでも社会に貢献する生き方の実践を共に考える

**討議内容** ①高齢化の状況、取り巻く環境はどうか? ②健康寿命をいかに延ばすか? ③フレイルを予防する対策は?

## 提言

1. フレイルを予防する対策として、若い時期からの適正な運動、定期健診そしてバランスのとれた食事への配慮が不可欠
2. 高齢者にとって、人との関わりが心身の健康保持に効果的であるため積極的なコミュニティ活動を勧める。



男女共同参画社会の実現に向けて、札幌宣言を採択

**札幌宣言 SDGs の実現を目指して**

日本 BPW 連合会は、2030 年までに SDGs 第 5 目標である完全な男女平等(50－50 フィフティフィティ)を実現するため、2018 年 5 月 26 日の札幌大会において、「男女格差 114 位/144 か国 ヘンな国だよニッポンは。さあ、どうする？」をタイトルに男女格差指数(The Global Gender Gap Index＝GGGI)評価4分野の各視点から課題とその解決策について、議論を重ねた。その結果、以下の宣言を採択する。

**経済分野：男女間の賃金格差解消のために**

1. 柔軟な再雇用制度の整備、育休取得者によりそった職場復帰計画の用意、育休取得が企業に負担を与えることのない制度の拡充等、継続年数の格差解消を図る
2. 女性活躍推進法及び女性が活躍する企業の業績が向上していることを広く周知し、職階の格差を解消する

**政治分野：女性議員比率向上のために**

「政治分野における男女共同参画推進法」の成立に伴い

1. 女性向けの勉強会など女性候補者が出やすい育成制度を推進する
2. 女性議員を増やすために、政党助成金に女性議員比率を反映させる
3. 政治に関心を持ち、ネットワークを作り女性議員を応援する

**教育分野：女子の高等教育への進学率をあげるために**

1. 女子への教育投資が経済発展につながると認識し、特に GGGI 格差の大きい理系(STEM/S: 自然科学、T: 技術、E: 工学、M: 数学)への進学を促すため、身近なロールモデルを発信する
2. 女子の高等教育への進学率の地域間格差も踏まえた上で、高等教育を受けた女性の就職や起業を支援する産学官の取組みを推進する

**健康分野：健康寿命を延ばすために**

1. 元気に年を重ねるために、若い時期から適正な運動、定期健診そしてバランスのとれた食事への配慮、その為の施策を推進する
2. フレイル(加齢に伴う回復可能な心身能力の低下状態)について周知し、予防・改善の施策を推進する
3. 心身の健康保持には、人とのかわりが効果的であるため、積極的なコミュニティ活動を推進する

採択された「札幌宣言」は、平松昌子理事長、名取副理事長らにより 6 月 29 日には、内閣府男女共同参画局 武川恵子局長、厚生労働大臣官房 成田悠紀審議官に、7 月 6 日に、文部科学省生涯学習政策局 常盤裕生局長にそれぞれご説明の上宣言を手渡しました。皆さんそれぞれ関心を持って受け止めてくださり、特に厚労省では柔軟な再雇用制度の整備ということでは、女性の退職理由などから、出産等で退職した人の希望は必ずしも同じ職場ではないこと、女性の退職理由などから再就職ということでの整備が好ましいかなどの話が交わされました。労働事情が変化しつつあることを含めどのような働き方への提案が女性にとって好ましいかもっと意見交換を活発にしましょうということで終わりました。



■内閣府/左から 名取副理事長、武川局長、平松理事長

■厚生労働省/左から 安陪東京クラブ名誉会長 成田審議官

■文部科学省/右側 常盤局長

特定非営利活動法人

日本 BPW 連合会第 10 回総会

2018 年 5 月 27 日 (日)

会場：エルプラザ

議長/成田教子

副議長/ハ反田元子

書記/遠藤起与子・三浦晶代

(全員札幌クラブ)

会員数 299 名

委任状 159 を含む出席者数 229 名

≪総会議事≫

第 1 号議案 議事録署名人の選出  
議事録署名人に成田教子議長、  
平松昌子理事長、中田美知子理  
事を全員一致で選出

第 2 号議案 議題の承認

全員一致で承認

第 3 号議案 2017 年度事業報告

第 4 号議案 2017 年度会計報告

第 5 号議案 2017 年度監査報告

3～5 号議案を報告し、質疑応  
答の後、全員賛成で承認

第 6 号議案 2018 年度統一テー  
マ・活動方針 (案)

第 7 号議案 2018 年度事業計画  
(案)

上記 2 議案を一括して審議の  
上表決し、全員賛成で可決

第 8 号議案 予算 (案)

2018 年案・2019 年案とも審議  
の上表決し全員賛成で可決

第 9 号議案 定款の一部変更

執行部提案の、変更案は、質疑の  
上評決の結果、全員賛成で可決

第 10 号議案 役員報酬 (案)・職  
員給与規程 (案)

執行部からの提案を、表決の結  
果賛成 228、棄権 1 で可決

第 11 号議案 理事の承認

クラブ代表理事交代を議場一  
致で承認、また被選者はいずれ  
も就任を承諾

和歌山/新：栗山有香子氏

旧：小原智津氏

福 岡/新：田島安江氏

旧：三浦佳世氏

熊 本/新：垂見(富田)和子氏

旧：岸田光代氏

議事終了後、次期大会担当の福岡  
クラブへの引継ぎが行われました

今後の活動予定

- 10 月 8 日 (月・祝) 北海道・東北ブロック研究会  
(山形クラブ/文翔館(山形県郷土館議事堂))
- 10 月 30 日～11 月 1 日 BPWI アジア太平洋地域会議(バンコク/タイ)
- 11 月 3 日 (土) 近畿ブロック研究会  
(大阪クラブ/帝国ホテル大阪)
- 12 月 1 日 (土) 西日本ブロック研究会 内閣府共催事業  
(長崎クラブ/長崎県庁舎)
- 12 月 9 日 (日) 関東・山梨ブロック研究会  
(山梨クラブ/甲府市)
- 2 月 16 日 (土) 中部ブロック研究会  
(あいちアソシエーツ/名古屋市)
- 4 月 20 日 (土) E P D 全国会議・役員会
- 21 日 (日) 拡大理事会 13:30～16:30 (AM 役員会)
- 5 月 25 日～26 日 福岡大会・総会

<国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業>  
**女性の活躍！長崎から世界へ～フィフティ・フィフティをめざして～**  
みんなが元気になる 街を 世界を 創る



内閣府 & 日本 BPW 連合会共催事業

日時： 2018 年 12 月 1 日 (土) 13:00 - 17:00

会場： 長崎県庁舎 1 階 大会議室 長崎市尾上町 3-1

プログラム：

13:05 ヤングスピーコンテスト

13:30 トーク&トーク

スピーカー：内閣府男女共同参画局長

池永 肇恵

(有)SDG パートナース CEO

田瀬 和夫氏

国立大学法人長崎大学 前学長

片峰 茂氏

コーディネーター：日本 BPW 連合会理事長

平松 昌子

14:55 グループ・ディスカッション

テーマ「仕事・産業・経済」「政治・行政」「教育」「家庭・コミュニティ」

問題提起者：(株)星野建設社長

星野親房氏

メトロ書店常務取締役

川崎綾子氏

長崎大学医歯薬総合研究科医工連携

吉田衣里氏

コーディネーター：BPW 長崎クラブ会長

黒崎伸子

15:55～16:25 討論結果発表および長崎アピール採択

16:30～17:00 交流会＊情報交換とネットワーキング

編集後記：

札幌大会の詳細につきましては、後日 HP や会報で報告させていただきます。